

本物の幸せを実感できるまちへ

奥出雲町まち・ひと・しごと創生

総合戦略を策定しました

町では、人口減少に歯止めをかけ、町民の一人ひとりが幸せに暮らすことができる地域社会を実現することを目指して、10月28日に「奥出雲町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。6月1日に、勝田町長から奥出雲町まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会（会長・作野広和島根大学教授、委員23人）に対して総合戦略について諮問しました。審議会では、4回の全体会、3回の分科会で協議、検討を重ねられ、10月8日、勝田町長に答申書が提出されました。

その後、パブリックコメントや町議会への報告を経てこの度総合戦略を策定しました。

総合戦略は、「本物の『幸せ』を実感する希望の地 奥出雲」につながるの豊かさを活かし、未来に希望をつなぐまちを戦略の基本理念とし、3つの基本目標、



勝田町長に答申を渡す審議会の作野会長（中央）

8項目の施策の方向性、20項目の施策を定め、これからの、「まちづくり・ひとづくり・しごとづくり」を推進していくものです。なお、戦略の内容については、町のホームページへ掲載しているほか、概要版の全戸配布を予定しています。



▲ボールをキープする石原貴幸主将（中央）

横田中と仁多中の選抜チームが優勝！ 全日本中学生都道府県対抗11人制選手権

11月7、8日に福井県で開催された第16回全日本中学生都道府県対抗11人制ホッケー選手権大会で、島根県代表として出場した横田中と仁多中男子の選抜チームが見事優勝を果たしました。

今大会は、1回戦で6対0と大勝したもの、その他は1度のSO戦を含み、全て接戦をものにしたの優勝となりました。特に岩手との準決勝は、相手にリードされる展開から終了間際のセットプレーで同点に追いつき、SO戦で勝利をもぎ取る劇的な試合でした。10日に横田コミュニティセンターで行われた優勝報告会には、約70人の町民が訪れ優勝を祝福しました。石原貴幸主将は、「監督、コーチ、保護者や地域の皆さんの支えがあったから優勝できました。」と感謝の気持ちを伝えました。



▼試合後、金メダルを胸に笑顔の選手たち

第11回奥出雲町芸術文化祭

11月1日から3日にかけて第11回奥出雲町芸術文化祭が開催されました。

会場の町民体育館と横田コミュニティセンターでは、グループや個人の作品が多数展示されました。また、それぞれの会場では、スポーツ吹き矢や囲碁・将棋などの体験コーナーや、お茶席が設けられるなど様々なコーナーがあり、来場者を楽しませていました。

また、3日に横田コミュニティセンターで行われた芸能音楽祭では、歌や踊り、演奏など20組が日頃の練習の成果を披露しました。



横田会場でのオープニングセレモニー

さくらおろち湖祭り2015

尾原ダムのさくらおろち湖ボート競技施設周辺で10月18日、さくらおろち湖祭りが開催され、テント村の出店もあり家族連れなど多くの人で賑わいました。

ステージでは、仁多乃炎太鼓、槻之屋神楽や、のど自慢優勝者の三成広域交番加藤巡査長の歌謡ショーなど多彩なステージイベントがありました。

また、この日はさくらおろち湖写真コンテストの表彰式が行われ、奥出雲町の石原優子さん(下阿井)の作品「おだやかな水面と激しい放流」が出雲河川事務所長賞に選ばれるなど計15点が入賞しました。

会場周辺では、パトカーや消防車の展示、馬車の運行などもあり、秋晴れのもと来場者は祭りを満喫した様子でした。



仁多乃炎太鼓の演奏

奥出雲サイクリング2015

奥出雲サイクリングが11月8日、尾原ダムのさくらおろち湖自転車競技施設を主会場として開催されました。

この日はあいにくの雨となりましたが、県内外から約390人が参加し、3つコースで奥出雲の自然を満喫しながらそれぞれのペースでサイクリングを楽しみました。

ゴール後には、名物の仁多米びっくりおにぎり、打ちたての手打ち蕎麦、奥出雲バーガーが用意され、参加者は奥出雲の食も堪能しました。



一斉にスタートする参加者

第99回仁多郡陸上競技大会

第99回仁多郡陸上競技大会が10月11日、三成公園陸上競技場で開催されました。

当日はあいにくの天気となりましたが、全61種目が行われ5つの大会新記録が誕生するなど好レースが展開されました。

また大会後には、「運動好きな奥出雲町の子どもを育てるプロジェクト」の一環として陸上教室が開催され、中国電力陸上競技部OBの田子康宏さんと同マネージャーの本多浩隆さんが、小中学生に走り方のコツなどを直接指導しました。



田子さん（中央）と一緒に走る子どもたち